

校長室だより(No14)

R4. 11. 07

11月に入り、日が暮れるのも早く感じる季節となりました。運動会が終わってからも、児童はたくさんの活動に取り組んでいます。

5組から9組の子どもたちは「ポーセラーツづくり」に取り組みました。地域の講師の方をお迎えし、子どもたちは思い思いの模様や絵柄をプレートに貼り付ける活動を楽しんでいました。これらの作品は、年末から郵便局で行われる「たんぽぽ作品展」にも展示される予定です。



また、10月22日には県陸上運動記録会がありました。本校からも市陸上運動記録会で選ばれた徳島市の代表として、も学年の9人の子どもたちが参加しました。鳴門市のポカリスエットスタジアムにて、放課後等に練習した成果を発揮し、県下の代表選手とともに記録を競い合いました。



加えて、11月2日に行われた分散参観では、保護者の皆様にはお忙しい中ご来校いただき、たいへんお世話になりました。また、学校からお帰りの際のご協力にも感謝いたします。幼稚園側と小学校正門側の2カ所に出口を分けたことで、車の流れや、子どもたちの校内における安全確保も円滑に行う事ができました。

さて、10月12日には、5年生が「牟岐少年自然の家」自然体験学習に参加しました。

海藻をつかったしおりづくりや、磯辺の活動を楽しみました。見慣れない水中生物を見つけると歓声が上がったり、波に打ち上げられたビーチグラスを集めたりしました。流木を使った作品づくりにも挑戦をしました。



しかし、残念なことが一つありました。それは、楽しみにしていた「島めぐり」ができなかったことです。強風のため、子どもたちの安全を考えて、活動内容を変更したそうです。

変更した活動は、「モルック」という室内ゲームでした。ボーリングに似たゲームで、ピンを倒した数やピンに書かれた数字の合計を、チームのみんなで決められた数にした方が勝ち！というゲームでした。

このゲームに、子どもたちはとても夢中になったそうです。

自然の家の指導員の先生方からも、「このゲームでこんなに盛り上がったのは久しぶりです！」とお褒めの言葉をいただきました。



トビウオやイルカの群れに会うことはできませんでしたが子どもたちは、「規律・協働・友愛・奉仕」のめあてに向かってそれぞれの楽しみ方で、充実した時間を過ごすことができたようです。

できなかった活動に対して不平不満を言うのではなく、目の前の「できること」に前向きに取り組むことができた子どもたちの行動は素晴らしかったと思います。できなかった「過去」と関わらず、「今、ここを楽しむ力」が子どもたちは身につけていたのかもしれない。

これからも、感染対策に気をつけながら、子どもたちに経験させたい活動を円滑にできるように取り組んで参りたいと考えています。今後も子どもたちの体調管理を含めた保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。